

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や検査結果を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや検査結果を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

全自動尿中有形成分装置 UF-5000 および多項目自動血球分析装置

XN-9100 における体液測定モードの比較検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究責任者】 松本雄貴（愛媛大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師）

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究の目的】

脳脊髄液・体腔液中の細胞数算定および分類は、髄膜炎、胸膜炎の診断に用いられる有用な検査であり迅速かつ正確な結果が求められる。特に細菌性髄膜炎の確定診断は、腰椎穿刺による髄液検査でのみ可能であり重要な検査である。現在、細胞数算定及び分類は目視法が用いられているが、手技が煩雑であるため迅速性に欠け、個人差にばらつきが生じるという問題がある。そのため、全自動尿中有形成分装置 UF-5000 および多項目自動血球分析装置 XN-9100 の細胞数算定および分類の比較検討を行う。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2020年1月から2020年4月の間に当院検査部において提出された入院外来患者のうち、髄液および体腔液（胸水、腹水など）の測定を実施された患者さん。

（検討内容）

全自動尿中有形成分装置 UF-5000 および多項目自動血球分析装置 XN-9100 の体液測定モードにおいて髄液及び体腔液中の細胞数および分画の妥当性評価を

行う。また、細菌混入の影響により細胞数の変化の検討を行う。

(利用するカルテ情報) 性別、年齢、既往歴、身体所見、血液検査データ等

。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院検査部 松本雄貴

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院検査部 松本雄貴

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5620